

元旦や何にたとえむ朝ぼらけ

「松の内」も過ぎました。明日は「鏡びらき」。具足箱に飾った重ね餅を欠いてお汁粉に。お正月もお終いです。今年も「七福神様」を賑やかに詣でて楽しい新年を迎えました。

正月5日。東京・六本木のミッドタウンに38人の皆様が集まりました。



ミッドタウン、六本木ヒルズと「高層ビル」の中でひっそりとお正月を迎えた「七福神」様は、どこも境内がせまくて稲門会のメンバーで溢れんばかり。

写真の「熊野神社」は、約2万歩を歩き切ってゴールしたところ。全員歩き切りました。目の前に「東京タワー」。正直言って「きつかった！」。

10時に出発して約4時間。今までの記録を更新しました。

昔は「万歳」がお目でたを囃したてた

東京のお正月は、楽しいものでした。獅子舞、三河万歳が「素襖」に烏帽子をかぶって鼓を鳴らして「はいおめでとう様」と門付けをして結構賑やかでした。

「三河万歳」は本当に「三河」の方々が江戸にひと稼ぎにきたらしいのです。

何を「むにやむにや」言ってるのかと後を追っかけて行きました。その一つを見つけました。

「ヤア唐土（もろこし）の養田我が朝の頼政は鶴（ぬえ）という怪鳥を手の元に射て落とす。かほどの目出度き例（ためし）なれば・・・・・・・・」

相当長いのですが、我が世代は丁度高度成長期で、「三河万歳」などとっくに忘れてしまってます。

「七福神詣で」は江戸時代に文人墨客達が始めた「正月行事」だそうです。江戸の中心部は少なく下町、郊外に神様はいらっしゃいます。その中で、今回の「七福神」様は、麻布、古川から見上げた丘の上にあります。

午前10時出発。まずはミッドタウンの真ん前にある「天祖神社」へ。ビルの谷間と工事中の塀。「どこ？」と見れば目下本殿は工事中。「福祿寿」様はその谷間に。



創建当時「飯倉」にあったお宮に毎晩江戸湾から龍が灯明をあげにきたので「龍灯」（りゅうどう）からとった「龍土神明宮」と呼ばれました。江戸初期に現在地に。

そう言えば「龍土町」と言う地名が。かつて六本木は歩兵3連隊、近衛1連隊があった「兵隊さん」の街。2・26事件の反乱軍はここから出撃。記録の中に「龍土軒」と言う西洋レストランで、若手将校たちが密議を凝らしたとか。

来年はこのお宮どうなっているのか。

続いて「布袋」様の久国神社へ。六本木交差点を離れてアークヒルズ方面に。ここが難所。交通は激しいし、遠い。今回の「七福神」様でここだけが大きく膨らんでいて歩きがありました。千代田村紅葉に鎮座していたと言うので相当古い神社。大田道灌が溜池からここに移したと言うが、鎌倉期の刀工久国が「宝刀」を寄進したのでその名が残った。天下の「宝刀」は現在でもあるらしい。



櫻田神社もビルに囲まれていました。「こんな所に」と振り返れば「六本木ヒルズ」。



ビルの一角とも思える細い参道をくぐるように前に。治承4年に頼朝が櫻田門外に創建。神田の畔に桜を植えたのが名前の由来。1月5日の「神詣で」とあって、仕事始めのサラリーマンが「商売繁盛」を祈る姿も。

商売繁盛！願います

お祀りしてある「寿老人」様は桃を片手に鹿を連れているお目出度い神様でした。

ここまでで何と9000歩。幹事役の中にも「もうくたぶれた」。やけのヤンパチ。又歩き出して麻布の台地に。

「どうもこの辺はお巡りさんが多い」と思いきや、右側に中国大使館。一昔前までは警察官が厳重防護の大使館は「ロシア大使館」「アメリカ大使館」だったが、中国大使館も厳重防護。今年こそは「仲良くやろうや」と思って中国大使館横の「氷川神社：」へ。ここも大田道灌が創建とか。「毘沙門様」がお祀りされてました。こんなビル街、大使館街で、トイレが無い。

これは大変だ！。先回りして探そうとしたが見つからない。もとに戻ろうとしたが解らな

い。迷子になった。次の大法寺まで何とか近道をと思いきや。一本道を間違えた。

「仙台坂」を下ってしまい、麻布十番に出てしまいました。

「大法寺」は一時休止の場所。甘酒を戴くことになっており、まずご住職にご挨拶。

「団体さんですね。本堂へおあがりください」と言われたが、もう相当歩いて後が心配、甘酒だけを戴きました。

本堂脇で参拝者に日本酒が。早速お酒の好きな方は冷えた身体を温め再出発。



「大法寺」は、麻布台地の先端部分。慶長2年（1597）に日利上人によって創建。享保15年（1730）に法華經三万部読經の功德で「大黒天」様が現れたと言うお目出度

いお寺でした。



あと一息！麻布十番稲荷神社で「お宝！お宝！」

今回の七福神詣では、この麻布十番稲荷を加えると「八福」となります。ここでは一段とお目出度い「宝船」がお出迎え。江戸名物は「伊勢屋稲荷に犬の糞」と言われるくらいにお稲荷さんは多いのですが、ここには末広神社（慶長年間創建）と、竹長稲荷（弘仁13年創建）の2社が合祀されています。今や都内でも有数の賑わいで「十番」は様々な老舗が多い。約15分の「お土産タイム」で元祖「豆源」の煎り豆が人気でした。

ここまでは何と12000歩。

一人も脱落者も無く歩きました。ご承知のとおり今回の七福神詣では、ビルに隠れてひっそりと鎮座します「七福神様」を励まそうとの企画。

でも「歩き過ぎ」との思いもありました。



麻布十番から「赤羽橋」へ。ここには「古川」と言う掘割がありました。東京湾から金杉橋、赤羽橋と小舟が漕ぎ回っていました。「十番」と言うのはその掘割の工事をしていた「人足達」の呼び名でした。「十番」だけが地名に残り、1番、2番組などは消えてなくなりました。赤羽橋から「芝公園」に、そこに弁天様を祀った宝珠院がありました。浄土宗ですので芝増上寺の末寺だったのかもしれませんが。



元気に完歩目前！

岡田大先輩は大きなカメラを持って先頭を歩きました。「大丈夫、大丈夫」と歩きくたぶれ気味の幹事連を励ましたり。今年はあちこちのウォーキングに参加されることでしょうか。「赤羽橋」からは「あと一か所」と先頭に立って「福々しく」歩きました。「七難即生」おめでとう



熊野神社で上がり。後は「精進落としのおめでとうさん！」

午後2時過ぎ、とうとう歩き通しました。何と2000歩。すぐ脇に「東京タワー」が立ちだかっています。狭い「熊野神社」の境内にわがウォーキング部の面々があふれました。歩道も占拠しました。

熊野神社は応永年間に紀州の「熊野三山」を勧請して建てられました。ここも文明年間に大田道灌が再建しています。豊島氏の氏神で、王子神社が中心の神社。歴史家の八巻さんによると、中世の練馬は特に那智大社と関係が深かったと言います。そうするとこの熊野神社でのゴールは意味が深かった。祀られていたのは「恵比寿様」。元々は漁民の神様でしたが、やがて商業神の性格も。



道まで溢れたウォーキング愛好会の舞菜さん。後は「精進落とし」の美酒がお待ちかね。



「お目出た」の会場は芝大門脇の「ぎゅうたん焼き」。午後2時半の昼食に幹事団は「すみません」と最敬礼。

それも飲むにつけ、語るにつけ「どうだまだ歩ける」と自慢話に。来年の話ですが、次はもう少し楽な「七福神詣で」にと部長の石川さんをお願い。

とは言え、2月の「歴史ウォーク」も決まり、3月は「梅見」。4月阪東武者の足跡を訪ねて「足利学校」周辺と目白押し。

皆さんくれぐれも良いお年を。





終わり